

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第3回）（公開）

日時：平成27年12月24日（木）14：00～15：31

議事概要：

（1）家畜等に使用するバージニアマイシン\*による薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

・審議の結果、

○ 評価対象抗菌性飼料添加物が、鶏及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、鶏及び豚由来食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中等度であると考えた。

○ なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的に十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含む新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

\* ストレプトグラミン系抗生物質で、鶏及び豚の飼料添加物として指定されています。